

# エックス線装置に関する構造設備概要書

診療施設名：\_\_\_\_\_

## ①エックス線装置の製作者名、型式及び台数

台数	台	
製作者名		
型式		
製造年月日	年 月 日	年 月 日
装置のタイプ	固定式（移動不能な物） 可搬式（移動可能な物） ポータブル	固定式（移動不能な物） 可搬式（移動可能な物） ポータブル
主な用途	透視・撮影・治療	
設置時の状態	新品・中古品	
設置年月日	年 月 日	年 月 日

## ②エックス線高電圧発生装置の定格出力

区分	管電圧	管電流	撮影時間	管電圧	管電流	撮影時間
長時間	kV	mA	—	kV	mA	—
短時間	V	mA	秒	kV	mA	秒
蓄電式	V	$\mu$ F	—	kV	$\mu$ F	—

## ③-1 エックス線装置の放射線障害の防止に関する構造設備の概要

### ア エックス線装置の共通事項

照射筒	有・無	有・無
エックス線管の容器及び照射筒の漏れ放射線量	エックス線管焦点から 1m の距離 mGy/時間 以下 エックス線装置の接触可能表面から 5cm の距離 mGy/時間 以下	エックス線管焦点から 1m の距離 mGy/時間 以下 エックス線装置の接触可能表面から 5cm の距離 mGy/時間 以下
総ろ過量	mm アルミニウム当量以上	mm アルミニウム当量以上

イ 透視用エックス線装置

透視用画像モニターの種類	蛍光板、イメージインテンシファイア、 その他（ ）	蛍光板、イメージインテンシファイア、 その他（ ）
透視時間積算・警告音発生タイマー	有 ・ 無	有 ・ 無
利用線すい可動絞り装置	有 ・ 無	有 ・ 無
蛍光板有効面積外照射防止装置	有 ・ 無	有 ・ 無
受像器通過後の放射線量	受像器の接触可能表面から 10cm の距離 μGy/時間 以下	受像器の接触可能表面から 10cm の距離 μGy/時間 以下
透視時の最大照射野通過後の放射線量	受像器の接触可能表面から 10cm の距離 μGy/時間 以下	受像器の接触可能表面から 10cm の距離 μGy/時間 以下
被照射線体周囲の散乱線防護	有 ・ 無	有 ・ 無

ウ 撮影用エックス線装置

利用線すい可動絞り装置	有 ・ 無	有 ・ 無
照射野の直径（口内法撮影用 X 線装置の場合）	センチメートル	センチメートル
X 線管焦点及び被照射体から作業従事者までの距離（移動型、携帯型、手術中の X 線装置）	メートル	メートル

エ 治療用エックス線装置

利用線すい可動絞り装置	有 ・ 無	有 ・ 無
ろ過板保持装置（インターロック）	有 ・ 無	有 ・ 無

③-2 エックス線診療室の放射線障害防止に関する構造設備の概要

1 週間の延べ撮影回数	回
1 週間の延べ透視時間	時間

診療施設の概要		形	独立家屋（ 階建）マンション等の集合家屋（ 階建の 階）		
		態	その他（ ）		
		構	耐火構造（ ）木造・木造モルタル プレハブ		
		造	その他（ ）		
エックス線診療 室の概要	形 態		エックス線診療専用の室、診療室と兼用の室、 手術室と兼用の室、その他（ ）		
	操作室の有無		有 ・ 無		
診 療 室 等 の 遮 へ い 物 等 の 概 要	区 分		材 料	厚 さ	放射線防護に関する措置
	天 井				
	床				
	周囲の遮 へい物等 （壁を含 む）	東側			
		西側			
		南側			
		北側			
	出入口の扉				
	診療室の遮へい蔽物 の外側における最大 放射線量		mSv／1週間 μSv／1時間		
	標識の有無		有 ・ 無		
注意事項の掲示		有 ・ 無			

※エックス線診療室の平面図及び側面図を添付すること。

※エックス線診療室の平面図及び側面図は、照射方向、発生管の中心から天井、床及び周囲の画壁の外側までの距離（メートル）並びに防護物の材料及び厚さを記入した縮図とすること。

### ③-3 診療施設における放射線障害防止に関する予防措置の概要

管理区域	管理区域の境界に おける最大放射線量	mSv／3か月間
	立入制限措置	遮へい物（材質等： ）による区画 白線による区画 その他（ ）
	標識の有無	有 ・ 無

敷地内の居住区域 および敷地の境界	人が居住する区域における最大放射線量	μSv/3か月間
	敷地の境界における最大放射線量	μSv/3か月間
その他	診療施設の見取図	
	エックス線装置を使用する室の遮へい物等の配置状況	

※エックス線診療室の平面図及び側面図中に、管理区域の標識等の位置を記入すること。

③-4 その他の放射線障害防止に関する予防措置の概要

防護用具の保有状況	防護手袋（ ） 防護エプロン（ ） その他（名称： 数量： ）
エックス線診療従事者等の 放射線測定器の保有状況	フィルムバッジ（ ） ポケット線量計（ ） 蛍光ガラス線量計（ ） ルクセルバッジ（ ） その他（名称： 数量： ）
エックス線診療室等の 放射線測定器の保有状況	有 ・ 無 （測定器名： 数量： ）
その他の措置 （健康診断等）	

④エックス線診療に従事する獣医師の氏名及びエックス線診療に関する経歴

氏 名	エックス線診療に関する経歴（従事年数、研修受講状況等）

※エックス線診療に関する経歴欄には、獣医師がエックス線診療に携わった場所、従事期間及び研修受講状況等を記入すること。

注意事項：電離放射線漏えいエックス線量測定報告書を添付すること。

## 電離放射線漏えいエックス線量測定報告書

事業所	事業所の名称	郵便番号	
	事業所所在地 管理者名		

エックス線装置	製作者名			
	エックス線装置の名称		製造番号	
	エックス線管の名称		製造番号	
	用途	撮影 ・ 透視 ・ その他 ( )		
	定格条件	長時間	k v	mA
	短時間	k v	mAs	
		k v	mA	
	コンデンサ式	k v	μ F	

測定記録	測定年月日	年	月	日	時	～	時	(天候)	
		温度	℃		湿度	%		(気圧) hpa	
	測定器	名称							
		型式					製造番号		
	測定条件	被写体							
	測定者名	免許の種類 免許登録番号 氏名		第		号	管理責任者		
	立会者								
測定上の条件									

測定結果	撮影条件レンジ	k v	mA Sec μ Sv	撮影条件レンジ	k v	mA Sec μ Sv	撮影条件レンジ	k v	mA Sec μ Sv
	測定点	測定値	算定値	測定点	測定値	算定値	測定点	測定値	算定値
	BG	μ Sv 以下			曝射回数	回			

測定機関住所 郵便番号

(電話番号)